



◆中央スポーツ公園の整備
問 サッカー場の人工芝への張り替えにあたり、ピッチを南北に拡大し、105m×68mにする考えは。(金子)
答 現在考えてはいない。
 ◆上水安定供給
問 移設更新中の片丘浄水場の能力は。(青木)
答 一日当たりの給水量は900m³と増量になり、片丘地区への安定供給と、一日当たり160m³を他へ供給が可能である。

住みやすい まちづくりを

◆学校給食で姉妹都市交流
問 学校給食の食材に姉妹都市の特産物を。(宮田)
答 良いことなので、具体的に利用方法等を検討する。



移設更新中の片丘浄水場



中央スポーツ公園サッカー場

◆ごみ問題
問 不法投棄対策は。(宮田)

環境に やさしい 社会を

◆みどり湖駅周辺の整備
問 通学路の安全確保にJR側道の拡幅が必要。(宮田)
答 積極的に計画を検討する。
問 送迎車の橋上駐車による交通問題の対策は。(宮田)
答 橋の補強工事を行う2年間、資材置き場を開放し、今後のあり方を研究する。
 ◆早期着工を
問 広丘駅東口のパークアンドライドの計画は。(古畑)
答 平成25年度は測量設計、26年度に整備する。おおよその駐車台数は64台、駐輪台数は90台程度を予定している。

◆水資源保全の取り組み
問 今後の条例制定の可能性については。(金子)
答 市民との合意形成を図りながら、分水嶺の位置にある塩尻市にとってふさわしい地下水保全の条例制定及びこれに基づく施策について調査検討していく。
 ◆生活環境を守るについて
問 中国から飛来が懸念されるPM2.5による越境健康被害

答 カメラでの監視や不法投棄の多い地点のマップで、地域住民の注意を促す。
問 陶磁器のリサイクルを始めてはどうか。(宮田)
答 試験的に取り組む。
問 生ごみの資源化を飲食店や食品販売店、農家などに促して推進すべき。(宮田)
答 ごみ減量の啓発に努め環境にやさしい事業所を増やす。



ポイ捨て禁止条例により罰金刑も



市は3年間で3台の除雪車を購入する



の対策はどうか。(西條)
答 黄砂と中国大気汚染と併せて情報に注視して対応を図っていく。
 ◆除雪体制の充実を
問 市の除雪路線の拡大に向けて見直しを。(古畑)
答 地区で除雪が困難な路線は今後、検討していく。
問 市民への除雪の協力体制の要請は。(古畑)
答 除雪路線以外の各区内の市道については、区内の除雪機械所有者にご協力いただき、生活道路通行を確保していくため助成金を交付している。